



きらめく



熊本支援学校長だより R3. 3月号

令和3年度も終わりが近づきました。今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、さまざまなことが変わりました。4月から5月までは休校となり、学校再開は6月でした。学校での生活も、感染予防のため、登下校の待機場所の変更、手洗い・消毒の徹底、マスクの着用など3密を避ける取組を行いました。子どもたちは、年度当初には戸惑いもありましたが、今の生活に少しずつ慣れてきたと思います。

いろいろな行事も中止や変更となりました。その中でも子どもたちは、校訓「明るく、仲よく、元気よく」を意識して、学校生活を送ったと思います。校外活動や地域の方との交流が少なかったことは、残念ですが、「今できることを工夫して行う」ということで、子どもたちは子どもたちなりに考えて学校生活を送っていたと思います。それもひとえに、保護者の皆さま、地域の皆さま、学校関係者の皆さまの御協力があったのことに感謝申し上げます。

職員にとりましても、子どもたちのことを考え、新しいことを生み出すために工夫を行ってきました。学校現場では、「働き方改革」が叫ばれています。本校でも、「働き方改革」を行うため、職員から意見を聞き、改善に努めていますが、まだまだ工夫しなければならないのが現状です。今後も、保護者の皆さまに御協力をいただくことが出てくると思いますので、よろしくお願ひします。

新型コロナウイルス感染症が落ち着き、以前の日常が少しでも戻ってほしいと思いますが、それにはまだ時間がかかると思います。今後も、新型コロナウイルス感染予防に努めながら、「できる工夫を行う」という考えのもと、子どもたちの成長のため頑張っていきたいと思います。

すべり台

小学部の中庭にあった遊具の一部を、安全性確保のため撤去していましたが、新しい滑り台を設置しましたので紹介します。設置したばかりで、まだ、子どもたちは使用できませんが、新年度になったら、思いきりすべってほしいと思います。



熊本県教育広報誌「ぼとん・ぼす」(vol.56)が発行されています。ぜひ、ご覧ください。



正面玄関に、3月からウエルカムボードを設置しています。これは、今年度の高等部3年生が、卒業記念として制作したものです。本日の行事を案内するボードの周りに花の鉢植えを置くところがあり、とても華やかなウエルカムボードになっています。

